

比較経営史特講Ⅱ

選択 2単位

大野 貴司

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、日本の企業家史について取り扱う。わが国の企業経営史に貢献をなした経営者の経営手法とその貢献について検討することにより、企業経営を歴史的に捉えていく素養を養うことを目指す。

2. 授業の到達目標

- ・日本経営史における主要な企業家とその経営方法について説明できるようになること。
- ・企業経営を歴史的な視点から捉えることができるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

- ・講義中の議論への貢献度合い、 50%
- ・各回の内容の要約と疑問点の整理(A4で1～2枚でまとめること。毎回提出) 50%

60点以上を合格とする。

ただし無断欠席、遅刻、取り組み態度の悪い者(許可なき時のスマホ閲覧、講義と関係のない内職等)、不規則発言は減点する。

4. 教科書・参考文献

教科書

橘川武郎 イノベーションの歴史 有斐閣

5. 準備学修の内容

テキストの輪読形式により講義を進めるので、事前にテキストの該当箇所を読み、内容と問題点の整理をしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

積極的な学習姿勢が求められる。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション、日本企業家史を学ぶ意義
- 【第2回】 三井高利
- 【第3回】 中上川彦次郎
- 【第4回】 岩崎弥太郎
- 【第5回】 安田善次郎
- 【第6回】 渋沢栄一
- 【第7回】 小林一三
- 【第8回】 二代目鈴木三郎助
- 【第9回】 豊田喜一郎
- 【第10回】 野口遵・鮎川義介
- 【第11回】 出光佐三
- 【第12回】 松下幸之助
- 【第13回】 稲盛和夫
- 【第14回】 鈴木敏文
- 【第15回】 柳井正